

日本書紀の成立と記事の虚実

令和二年は、日本に伝存する最古の正史

『日本書紀』が成立して一三〇〇年にあたります。

『日本書紀』は長く複雑な編纂過程を経た歴史書で、その内容に関しては、記事の虚実も含めさまざまな議論があります。

本シンポジウムでは、歴史学と言語学の視座から、

古代東アジア世界の激動のなかで『日本書紀』が成立した意義を考えます。

日時 令和2年 1月13日 月・祝
13:00～16:00 (開場12:30)

会場 京都産業大学 むすびわざ館 2階ホール
京都市下京区中堂寺命婦町 1-10
(壬生川通松原下る)



むすびわざ館へのアクセス

- 丹波口駅(JR)から 徒歩約4分
- 大宮駅(阪急)から 徒歩約7分
- 四条大宮駅(京福電鉄)から 徒歩約7分
- 五条壬生川停留所(市バス)から 徒歩約2分

むすびわざ館には駐車場はございません。
ご来館には環境にやさしい公共交通機関をご利用ください。

問合せ先 京都産業大学 研究機構 (研究支援担当)
TEL 075-705-1468

申込
不要

入場
無料

プログラム

第一部 講演

- 『日本書紀』区分論から何が言えるか 森 博達 (京都産業大学名誉教授)
『日本書紀』朝鮮関係記事と百済三書 田中 俊明 (滋賀県立大学名誉教授)

第二部 パネル ディスカッション

- パネリスト** 森 博達 氏・田中 俊明 氏
吉野 秋二 (文化学部教授・日本文化研究所兼務所員)
久禮 且雄 (法学部准教授・日本文化研究所兼務所員)
池田 昌広 (外国語学部准教授)

司会 吉野 秋二



むすんで、うみだす。

京都産業大学

<https://www.kyoto-su.ac.jp/>